



## 教科における探究的な学習の充実

## 実践編



## 芸術科(音楽Ⅰ)

## 1 題材 「学校CMソングをつくろう」(「A 表現」(3) 創作) (第1学年)

## 2 題材の目標

- (1) 音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解するとともに、創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律をつくったり、つくった旋律に和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付ける。
- (2) テクスチャを知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもつ。
- (3) 表したいイメージと音楽の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組むとともに、生活や社会の中での音楽に親しむ。

## 3 評価規準

| 知識・技能                                                                                                                                                                                               | 思考・判断・表現                                                                               | 主体的に学習に取り組む態度                                                |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>音を連ねたり重ねたりしたときの響き、音階や音型などの特徴及び構成上の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。</li> <li>創意工夫を生かした創作表現をするために必要な、旋律をつくったり、つくった旋律に和音などを付けた音楽をつくったりする技能を身に付け創作で表している。</li> </ul> | テクスチャを知覚し、その働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもって、どのように音楽をつくるかについて表現意図をもっている。 | 表したいイメージと音楽の関わりに関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に創作の学習活動に取り組もうとしている。 |

## 4 題材の指導と評価の計画

●指導に生かす評価 ○指導に生かすとともに記録に残す評価

| 時間           | 問い(学習課題)・主な学習活動〔評価方法〕                                                                    |                      | 評価 |   |   |
|--------------|------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|----|---|---|
|              |                                                                                          |                      | 知  | 思 | 態 |
| 1            | 題材全体の問い(学習課題)                                                                            | 「生活や社会の中の音楽の役割」とは？   |    |   |   |
|              | 学習課題の解決に向けて、題材の学習の見通しをもつ。                                                                |                      |    |   | ● |
|              | 問い(学習課題)                                                                                 | なぜCMソングは人を引きつけるのか？   |    |   |   |
|              | 実際に放送されているCMを視聴し、CMソングの特徴を分析する。                                                          |                      |    |   |   |
| 2前           | 問い(学習課題)                                                                                 | 映像と音楽との関係性とは？        |    |   |   |
|              | 共通の映像に異なる音楽を合わせたときに受ける印象の違いについて、音色、リズム、旋律、構成等に注目して分析する。                                  |                      | ●  |   | ● |
| 2後<br>3<br>4 | 問い(学習課題)                                                                                 | イメージを音楽で表現するためには？    |    |   |   |
|              | 学校の魅力を伝えるCMソングをつくるために、映像に合わせる音楽のイメージをもち、循環コードを基に音楽をつくる。                                  |                      | ●  | ● | ● |
|              | 問い(学習課題)                                                                                 | 印象に残る魅力的な音楽をつくるためには？ |    |   |   |
| 5            | 既存のCMソングと比較したり、他者に意見をもらったり、映像と合わせて聴いてみたりなど、客観的かつ多面的・多角的に自分の作品を分析し、改善する。〔ガイダンスプリント、作品、観察〕 |                      | ○知 | ○ | ● |
|              | 問い(学習課題)                                                                                 | 表したいイメージと音楽の関わりとは？   | ○技 | ● | ● |
| 6前           | 完成した作品を発表し、他者の作品を聴き合う。〔ガイダンスプリント、作品、観察〕                                                  |                      | ○技 | ● | ● |
|              | 問い(学習課題)                                                                                 | 「生活や社会の中の音楽の役割」とは？   |    |   |   |
| 6後           | 「生活や社会の中の音楽の役割」について考えたことや、創作を通して感じたことをまとめる。〔ガイダンスプリント〕                                   |                      |    | ○ | ○ |

## 《 本題材における探究的な学習について 》

学校のCMソングをつくる学習活動を通して、創作表現に関わる知識や技能を得たり生かしたりしながら、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫する力を養うことを目的として、「『生活や社会の中の音楽の役割』とは？」という題材全体の問い（学習課題）を設定した。探究的な学習の過程においては、創作の活動を通して主体的に課題を追究できるようにすることで、資質・能力の育成を図った。また、本題材に入るまでの学習として、器楽や歌唱における指導事項を有機的に関連付け、題材同士の系統性を考慮しながら題材の配列を工夫してきた。

なお、学習指導要領解説にも、創作において、曲を完成させることのみをねらいにすることなく、生徒が自由に音を出しながら音のつながり方や重ね方などを試す中で、音楽を形づくっている要素の働きに気づき、それらが生み出す特質や雰囲気などを感じ取り、創作する意欲が一層高まっていくように工夫することの必要性が示されている。本題材では、様々な感覚を働かせながら、知覚と感受を関わらせ、感性を融合させながら表現意図を明確にしていく学びの実現をねらいとしている。これらの活動を通して、\*音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力の育成を目指している。

### \*音楽的な見方・考え方

感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、音楽の文化的・歴史的背景などと関連付けること。（音楽を形づくっている要素：音色、リズム、速度、旋律、テクスチャ、強弱、形式、構成など）

## 5 学習活動の実践と指導のポイント

### 1 時間目

最初に、題材全体の問いである「『生活や社会の中の音楽の役割』とは？」について考え、題材の見通しをもつ場面を設定した。さらに、本題材では生活や社会の中の音楽としてCMソングに着目し、学校の魅力を伝えるCMソングの創作を通して、問いに対する考えを深めていくという学習の過程を確認した。その後、既存のCMを視聴し、「なぜCMソングは人を引き付けるのか？」という問いに対して、音色、リズム、旋律、構成の視点から音楽の特徴を捉える展開とした。

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

本題材では、中学生向けに学校の魅力を発信するCMソングの創作を行うことを課題とし、相手意識や目的意識をもって創作活動にあたるよう指導した。また、実際のCMソングが人を引きつける理由や特徴を分析する活動を設定し、そこで気付いたことを創作に生かせるようにするとともに、「生活や社会の中の音楽の役割」への関心を高められるようにした。分析して気付いたCMソングの音楽的な特徴は、ガイダンスプリントにまとめ、後の創作活動で見返せるようにした。

生徒は、音楽のもつ役割について、生活の中にあるCM、店内BGM、チャイム、駅の発車メロディー等の音楽には、「人に合図を送る」「リラックスさせる」「対象物の印象を強く残す」等の目的があることに気づき、理解していた。また、CMソングの特徴を分析し、共有する活動では、「反復を使い、印象が強く残る工夫をしている」「口ずさみたくなる旋律やリズムがある」「商品イメージに合った曲想になっている」「リズムやベースラインが耳に残りやすい」などの意見が出された。これらの分析を通して、音楽が人の感情を動かしたり、見聞きしたものを印象付けたりできるということを実感している様子だった。

### 2 時間目前半

2時間目のはじめに探究ルーブリックを用いて、「分析・考察」の観点について確認する時間を設定した。その後、映像と音楽との関連性を捉えるために、曲想の異なる二つの音楽について、それぞれを映像に合わせたときに受ける印象やイメージと、それらをもたらす音楽の特徴について比較しながら分析し、他者と共有する場面を設定した。

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

はじめに探究ルーブリックとガイダンスプリントを提示し、これらを使う目的、判断基準の意味などを説明し、生徒が学習の見通しをもてるようにした。次に音楽がどのように人の印象を左右するか分析するために、無表情のキャラクターが歩く映像に、教師がピアノで演奏する「ピカデリー（作：サティ）」と「ピアノソナタ第14番第1楽章（作：ベートーヴェン）」を合わせ視聴した。曲想が対照的である二つの楽曲を通して、音楽が与える印象の違いを、キャラクターの表情や感情を想像しながら感じ取るようにした。また、クラス全体で意見を共有する際には、それぞれの音楽の調性、速度、リズム、旋律、テクスチャ等の音楽を形づくっている要素と、音楽から受ける印象やイメージを関連付けることを意識できるよう支援した。

生徒は、音楽によって、映像の印象が違って伝わることに気づき、音楽が果たす役割の大きさを実感している様子だった。

# 学校 CM ソングをつくろう

学 校 審 査 表

デーマ  
 CM ソング制作を通して、「生活の中での音楽の役割」と生徒の考えをよう

「生活や社会の中の音楽」・・・  
 その役割とはなんでしょうか？

1. 学校 CM ソング参加人数を増やすための方

実際に活動されている CM 制作班にて、CM ソングの制作目的を調査しよう。

|     | 機関名・団体名 | 参加人数 | 活動の目的<br>(音楽、ソング、活動、制作など) |
|-----|---------|------|---------------------------|
| CM1 | 〇       | 〇    |                           |
| CM2 | 〇       | 〇    |                           |
| CM3 | 〇       | 〇    |                           |
| CM4 | 〇       | 〇    |                           |

2. 音楽と音楽の関係性とは？

同じ音楽でも利用する場面によって役割が異なる。音楽がどのような役割をはたしているか、を  
 ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺

|        | 音楽と音楽                                                                                     | 関係性                                                                                       | 活動の目的<br>(音楽、ソング、活動、制作など) |
|--------|-------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| ソング制作班 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ |                           |
| ソング制作班 | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ | ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ |                           |

## ガイダンスプリント

## 【生徒が記述した「映像と音楽の関係性」の例】

- ①「ピカデリー（作：サティ）」と合わせて視聴したとき  
 【感じること】 「楽しいことがあったようだ」「うきうきしている」「スキップしたくなる」  
 《音楽の特徴》 明るい音色、テンポが速い、高い音を使用している、弾んだリズム、長調
- ②「ピアノソナタ第14番第1楽章（作：ベートーヴェン）」と合わせて視聴したとき  
 【感じること】 「暗く見える、絶望しているような感じ」「何もかもうまくいかない、悲しい」  
 《音楽の特徴》 ゆっくりなテンポ、低い音が多い、同じ動きをひたすら繰り返している、短調

2時間目後半～6時間目前半 探究的な学習

## 探究的な学習の過程

## 2時間目 後半

## ① 課題設定

## ② 創作

### ③ 中間発表

#### ④ 比較・分析

## ⑤ 改善

## ⑥ 発表

## ⑦ 振り返り

## 2時間目後半〔探究的な学習の過程①〕

ここまでの学習を基にして創作活動始める前に、探究ルーブリックを用いて「創造性」の観点について確認し、今後の創作活動における見通しをもてるようにした。曲に合わせる学校紹介映像を確認し、各自が中学生に伝えたい学校の魅力を決め、映像に合わせる音楽のイメージを構想する時間を設定した。授業後半に、使用するWebアプリ「カトカートン(教育芸術社)」の操作方法を説明した。

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

約15秒間の学校紹介映像は教師が学校ホームページを基に作成した。今回は、指定した循環コードに合う音楽を創作することとし、教師の作品例を紹介して、ゴールのイメージをもてるようにした。生徒は、中学生に向けて学校のどのような魅力をどのような音楽で表したいのかについて、映像とともに印象付けることができるように、大まかなイメージを構想した。

【生徒が記述した「映像に合わせたい音楽」の例】

- ・学校行事の楽しさや青春の雰囲気伝えたいから、テンポを速めにしたい。
- ・落ち着きと明るさの両方があることを印象付けたいから、覚えやすいリズムと高い音を使いたい。
- ・学校らしさを表現したいから、チャイムや校歌のフレーズを入れたい。



Webアプリ「カトカトーン（教育芸術社）」

### 3・4時間目 〔探究的な学習の過程②〕

これまでの学習内容を踏まえて、探究ルーブリックの「創造性」「自己成長」の観点について確認した。その後、ガイダンスプリント3(2)「メロディをつくろう」に示された条件や例を手掛かりに創作を進め、Stepごとにペアで互いの作品を聴き合い、意見交換しながら作品の改善を重ねた。創作する際に工夫した点については、ガイダンスプリントへ随時記入した。授業の最後にはTeamsを使って作品を提出し、次時に活用できるようにした。

#### 《 CMソング創作の条件 》

- ・ハ長調 4分の4拍子8小節 循環コードを基に作成する。
- ・循環コード C G/B Am Em/G F C/E Dm G C
- ・各小節の1拍目はコードの構成音を使う。
- ・最初の2小節をモチーフとして、旋律の音型やリズムを反復・変化させまとまりのある旋律にする。リズム楽器を追加してもよい。
- ・ある程度出来上がったところで、旋律と伴奏の音色、速度、スウィング等の変更を可能とし、テクスチャを工夫する。

#### 《 CMソング創作上の留意点 》

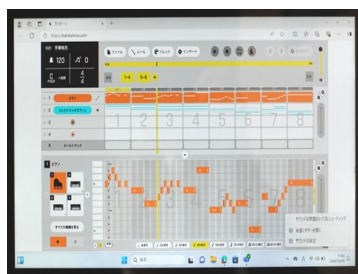
- ・楽器(キーボード)とWebアプリを併用して作成する。
- ・毎時間作品を保存し、そのURLを提出する。

ガイダンスプリントに示した条件と留意点

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

創作活動では、キーボードで音を出して旋律をつくり、それをWebアプリに入力して確認できるようにした。生徒が主体的に学習に取り組めるよう、ガイダンスプリントに学習の流れやWebアプリの使用方法を記載したり、創作の過程を振り返ることができるよう、工夫点等を記述する欄を設けたりするなど工夫した。また、創作の手順を段階的に示すことで、活動に苦手意識を感じる生徒でも、スモールステップで進めて創作意欲を継続できるようにした。さらに、CM創作の条件である循環コードは、ガイダンスプリントに楽譜として提示するとともに、Webアプリに伴奏部分の和音を事前入力することで、読譜が苦手な生徒でも参考にしながら創作を行えるように支援した。思うように創作が進まない生徒に対しては、「構成音を使って上行形に音を並べてみたらどうか」「終わった感じにするなら主音を使おう」など、知識の活用を促すような助言を行うようにした。

生徒は、Stepごとにペアで互いの作品を聴き合い、作品としてのよさを見付けたり、CMソングの特徴を意識して意見交換をしたりしながら創作を進めていた。Webアプリは、音が図で示されることで視覚的にも分かりやすく、即座に音を聴くことができるため、何度も音を聴いて確認をしながら調整を加え、自分のイメージする音楽に近付けようと主体的に活動する姿が見られた。また、「スウィングさせたい」「リズムを変えたい」「調を変えたい」など、習得した知識を活用し、様々な工夫を試みる生徒も多かった。



生徒が創作したCMソング  
(カトカトーン画面)



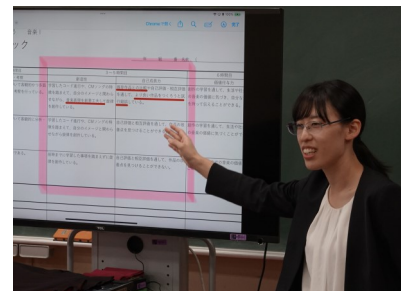
ガイダンスプリント

#### 【 生徒が記述した「工夫した点」の例 】

- ・楽しさが伝わるように、少しずつ音が高くなっていくようにした。
- ・音形を反復する役目として、チャイムを使った。
- ・明るい感じを出すために、あえて「旋律だけ」「和音だけ」の部分をつくり、変化があるようにした。
- ・学校には様々な人がいることや、明るくにぎやかな感じを、異なる複数の楽器で音色を重ねて表現した。

## 5時間目「探究的な学習の過程③～⑤」

この時間は、「印象に残る魅力的な音楽をつくるためには？」の問いに対し、探究ルーブリックを用いて自己の作品を分析し、改善する時間とした。はじめに、既存のCMソングと自己の作品を比較し、その後グループ内で作品を相互評価する中間発表を行った。互いに意見交換や助言をする時間を設け、そこから得られた改善策を基に、作品に修正を加えた。



### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

生徒がCMソングの役割を意識して評価したり、改善を加えたりできるよう、中間発表の前に改めて既存のCMを視聴して、それぞれの音楽を形づくっている要素と、音楽から受ける印象やイメージについて考える時間を設けた。また、探究ルーブリックの「創造性」「自己成長」の観点についても再確認した。グループ内での中間発表では、最初に工夫した点や課題点を共有し、その後映像付きで作品を視聴して、相互評価するようにした。評価の際には、作品をよりよいものにするための前向きな助言をするよう促した。

生徒は、他者の作品に興味深く視聴し、よさを積極的に伝え合ったり、具体的な改善策を提案したりして活発な意見交換を行っていた。また、創作活動に行き詰まりを感じた生徒は、積極的に質問し、アドバイスをもらう様子が見られた。これらの活動を通して、既存のCMソングや他者の作品から自己の作品を客観的かつ多面的・多角的に比較・分析し、課題点や改善点を見だし、「中学生の印象に残る魅力的な音楽にするために」という相手意識や目的意識をもって作品の改善に取り組む姿が見られた。



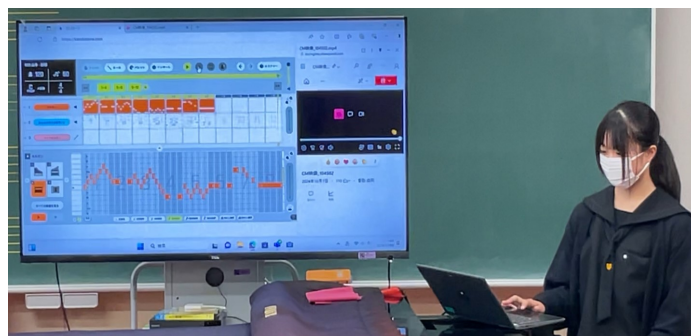
## 6時間目前半「探究的な学習の過程⑥⑦」

探究的な学習のまとめとして作品の発表会を行い、互いの作品を聴いて感想を伝え合う活動を設定した。その後、探究ルーブリックを活用し、自己の作品や創作活動の取組を振り返る時間を設けた。

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

最初に、つくった作品の特徴や工夫した点について作品解説を行い、創作の表現意図を伝えるよう促した。また、それらの特徴や工夫した点が、映像に合わせてどのように表現されているのか、鑑賞する生徒が視覚的に捉えられるように、作品と映像を同時に大型画面に映し出して発表した。

ある生徒は、「映像が学習のシーンから部活動のシーンに変わるときに、かけ上がる旋律を使い、元気に盛り上がる感じにした」と、映像と音楽を関連付けながら創作した意図を伝え、自分のイメージを表現した作品について発表していた。これまで、生徒はタブレット端末を通して自身の作品を聴いていたが、発表会では大型テレビで映像とともに視聴することができ、本物のCMのような作品をつくり上げられたという手応えを感じることができていたようだった。また、鑑賞した生徒は、「学校のにぎやかな感じが楽器の音色の重なりによって表現されていてよかった」「チャイムをモチーフにつくったことで、学校らしさが出ていた」など、発表者の表現意図を受けて、作品のよさを率直に伝えていた。聴く側から作品のよさを伝えてもらい、自分の表現意図が伝わっていたことを実感したことで、創作の達成感が得られた様子だった。



## 6時間目後半

題材全体を振り返り、1時間目の問いである「なぜCMソングは人を引きつけるのか?」と、題材全体の問い「『生活や社会の中の音楽の役割』とは?」に再度向き合う場面を設け、これまでの創作活動を通して考えたことをまとめる展開で授業を進めた。

### ◎指導のポイントと生徒の様子◎

生徒は、探究ルーブリックやこれまで残してきた振り返りの記述を基に、これまでの学習を振り返り、題材を通して学んだことや気付いたことを整理し、問いに対する答えを記述していた。ペアで考えを共有する際には、共感できた部分や新たな気付きがあった部分に対してアンダーラインを引きながら意見を共有し、自己の学びの意義や価値を見いだしていた。

#### 【生徒が記述した「なぜCMソングは人を引きつけるのか?」の例】

- ・CMソングは、思っている以上に多くの音が組み合わせたり重なりあっていて、それが人を引きつけるのだと感じた。
- ・伝えたいメッセージに沿った雰囲気を、音楽で演出できるという点がCMソングの魅力だと思う。

#### 【生徒が記述した「『生活や社会の中の音楽の役割』とは?」の例】

- ・音楽は、その場の雰囲気を作り出す役割がある。(パーティーでのポップミュージック、表彰式のファンファーレなど)
  - ・音楽は感情を表現するものであり、人はそれに共感しながら様々な感情と向き合い、生き方を見いだしていく。
- 音楽は、生活や社会の中で人々の感情に寄り添い、心を支える重要な役割を担っていると思う。

## 6 探究的な学習における評価について

### ◎探究ルーブリックを用いた生徒の自己評価、相互評価

探究ルーブリックは、「分析・考察」「創造性」「自己成長」「価値付け」の四つの観点を設定した。

探究的な学習に入る前に生徒に探究ルーブリックを示したことで、目指すべきゴールを明確にして学習を進めることができた。また、毎授業の最初と最後に、探究ルーブリックを使って活動の見通しをもったり、活動を振り返り自己評価を行ったりする場面を設定した。それによって、生徒は自己の成長や課題を捉え、次の学びにつなげることができた。さらに、中間発表や発表の場面で生徒同士の相互評価を行うことで、新たな視点を得たり、考えを広げたりして自己の学習を振り返り、改善を行うことができた。

学校CMソングをつくろう 音楽1  
探究ルーブリック

|      | 分析・考察                                                     | 創造性                                                  | 自己成長                                               | 価値付け                               |
|------|-----------------------------------------------------------|------------------------------------------------------|----------------------------------------------------|------------------------------------|
| A    | 記述した感情に基づいて歌詞のつづきや曲のイメージを想像し、自分のイメージと関わらせながら、音楽表現を創出している。 | 学習したコード進行や、CMソングの特徴を踏まえて、自分のイメージと関わらせながら音楽表現を創出している。 | 自分の作品と他者の作品を比較し、自分の作品の長所や短所を評価し、よりよい作品をつくらうと決めている。 | 自分の作品を通して、生活や社会の中での音楽の役割について考えている。 |
| B    | 記述した感情に基づいて歌詞のつづきや曲のイメージを想像し、自分のイメージと関わらせながら音楽表現を創出している。  | 学習したコード進行や、CMソングの特徴を踏まえて、自分のイメージと関わらせながら音楽表現を創出している。 | 自分の作品と他者の作品を比較し、自分の作品の長所や短所を評価し、よりよい作品をつくらうと決めている。 | 自分の作品を通して、生活や社会の中での音楽の役割について考えている。 |
| C    | 分析・考察が十分である。                                              | 学習したコード進行や、CMソングの特徴を踏まえて、自分のイメージと関わらせながら音楽表現を創出している。 | 自分の作品と他者の作品を比較し、自分の作品の長所や短所を評価し、よりよい作品をつくらうと決めている。 | 自分の作品を通して、生活や社会の中での音楽の役割について考えている。 |
| 自己評価 |                                                           |                                                      |                                                    |                                    |
| 相互評価 |                                                           |                                                      |                                                    |                                    |

### ◎「思考・判断・表現」の評価例

教師による評価はガイダンスプリント5「表したいイメージと音楽の関わりとは?」の「作品の特徴や工夫した点」に対する生徒の記述と作品、創作活動の観察により評価した。その際、以下のような探究ルーブリックの観点「創造性」を基とした判断基準を作成し、評価を行った。単に表したいイメージを表現意図に結び付けるだけではなく、前時までに学習したCMソングの音楽的な特徴を踏まえた具体的な表現意図があり、創作作品や授業中の観察からもそれが見受けられた場合にはA評価とした。

| 「十分満足できる」状況(A)                                                                                         | 「おおむね満足できる」状況(B)                                          | 「努力を要する」状況(C)                                       |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 前時までに学習したコード進行や、CMソングの特徴を踏まえて、自分のイメージと関わらせながら、どのように音楽をつくったかについて、音楽を形づくっている要素の働きに着目しながら、具体的な表現意図をもっている。 | 前時までに学習したコード進行や、CMソングの特徴を踏まえて、自分のイメージと関わらせながら、表現意図をもっている。 | 表したいイメージはもっているが、それを具体的な表現意図へと結び付けることができず、活動が停滞している。 |

### 【B評価の記述例】

学校生活の楽しさを表現するために、付点8分音符と16分音符を組み合わせでスキップするようリズムを取り入れた。またコードに含まれる音のみを使うことで、きれいな響きのある旋律になるようにした。

### 【A評価の記述例】

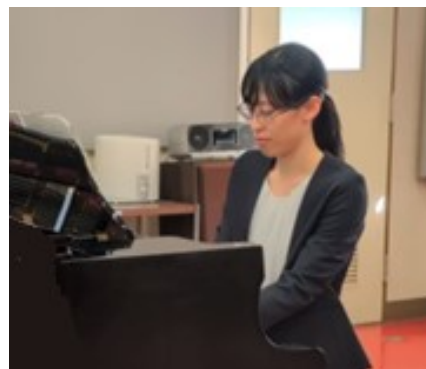
青春のさわやかさを表現するために、テンポは速く、ドラムを入れて、音色はクラリネットで柔らかさを強調した。コード進行に合わせて3小節目で盛り上がるように跳躍進行で旋律をつくった。あえて和音の響きに合わせない半音階の旋律も入れて、印象に残りやすくした。

## 7 授業者より～実践の成果とこれからの方向性～

日頃から、生徒が音楽活動を楽しみながら、主体的に授業に取り組めるような指導を目指しています。そのために、年間を通して育成したい知識・技能を身に付けるための学習を意識的に題材へ組み込んでいます。

本実践では、習得した知識・技能を用いて、他者の意見を取り入れながら、よりよい作品づくりを追究できるような探究的な学習の過程を設定しました。また、音楽を形づくっている要素をよりどころとし、思考・判断したり、表現したりしながら音楽を捉えられるような指導を心掛けました。生徒たちは、普段何気なく耳にしている楽曲やBGMを、音楽的な見方・考え方を働かせながら捉えたことで、新たな気付きを得ることができ、他者との感じ方の違いなどを楽しみながら、音楽への理解を深める様子も見られました。また、ICT機器等を活用することで生徒の可能性を広げることができたと感じています。例えば、楽譜の読み書きや器楽演奏に対して苦手意識をもっている生徒であっても、アプリを使って音を可視化しながら創作活動に取り組むことができたので、小さな達成感を感じながら創作表現の魅力を味わえたようでした。一方、音楽経験が豊富な生徒には、専門的な助言をしたり、表現の自由度を高くしたりすることで、ICT機器等を活用した発展的な創作に取り組み、複雑な音をつくり出すなど創作の幅を広げている様子が見られました。共通する目標に向かい、各生徒が創意工夫しながら学びを進めていく姿が印象的でした。

探究的な学習の過程を取り入れた授業展開を研究する中で、生徒は私も気付かなかった音楽の魅力や捉え方・表現の仕方を発見していることを再認識しました。今後は、創作に限らず、歌唱・器楽・鑑賞の授業でも、意見交換やアンサンブルなど、音楽を通して他者と関わる場面を設け、探究的な学習を積極的に取り入れたいと考えています。教師も生徒とともに新たな学びができる授業を目指します。



### 【探究的な学習実施後の生徒の振り返り】

- ・他者の作品を聴いてアドバイスしたことが自分にも当てはまると感じることもあり、自分の作品を見直すときのポイントの一つとして捉えることができた。自分の作品にはないものが他者の作品にあり、「今度は参考になったことを使ってみよう」と、自分の中に新しい自分が生まれたように感じた。
- ・音楽の授業での探究は、それぞれの個性が発揮され、着想から結論に至るまで何もかもが新鮮だった。クラスで得たまとめを他クラスと比べ合うのもおもしろいのではないかと思った。

本実践で作成した資料は、栃木県総合教育センターWebサイトで閲覧及びダウンロードできます。また、他教科の実践についても紹介されていますので、ご覧ください。



【問合せ先】 栃木県総合教育センター 研究調査部

〒320-0002 栃木県宇都宮市瓦谷町1070 TEL 028(665)7204

